

FEMLEEG 修正履歴 (バージョン 4.1 リリース 7~バージョン 4.0 リリース 1)

【バージョン 4.1 リリース 7 で修正されました。(2011/02/22)】

FEMIS

- ・投影面エリア載荷/エリアバネ拘束で、不等分布の荷重/バネ拘束が正しく設定されない場合があります。
- ・[ファイル]-[読み込み]-[NASTRAN]で、節点座標が局所座標系で定義されていて、その局所座標系が円筒/球座標系の場合、座標値が正しく変換されませんでした。

LISA

- ・平面歪要素を使用した伝熱-非定常解析の結果が正しくありませんでした。
- ・水圧荷重が正しく設定されない場合があります。

FEMIST

- ・MARC 変換で、FEMIS の伝熱メニューで入力した熱物性が変換されませんでした。

【バージョン 4.1 リリース 6 で修正されました。(2011/01/20)】

FEMIS

- ・一次元要素にグループ設定がしてある場合、隠面のグループ描画の色が凡例と合わない場合があります。
- ・[伝熱]-[熱物性]-[等方性]および[異方性]で、熱容量の入力が表示されていませんでした。
- ・[CAD]-[パーティックス座標変換]で、倍率指定をしても正しく動作しませんでした。
- ・リンク要素の解除/削除で、約 1 万以上の設定を解除/削除すると異常終了する場合があります。

FEMOS

- ・一次元要素にグループ設定がしてある場合、隠面のグループ描画の色が凡例と合わない場合があります。
- ・LISA の非定常熱伝導解析結果のアニメーション作成で、ラベル(TIME)が正しく表示されていませんでした。
- ・履歴グラフで、スムージング後の要素成分を節点指定した場合、グラフの値が正しくありませんでした。

LISA

- ・(NO TENSION 解析)+(ETRUSSE)+(プレテンション)の場合、異常終了してしまいました。
- ・(静弾性-反復法)+(複数荷重ケース)+(バネ支持点に集中荷重載荷)の場合、バネ支持点の反力が正しく求まらない場合があります。

<バージョン 4.1 リリース 5 は正式公開されませんでした>

【バージョン 4.1 リリース 4 で修正されました。(2010/07/21)】

FEMOST

- ・標準入出力変換(STANDARD 変換)で節点成分が正しく変換されていませんでした。

【バージョン 4.1 リリース 3 で修正されました。(2010/06/30)】

FEMIS

- ・[ファイル]-[スナップショット]-[PNG]を実行すると異常終了してしまいました。
- ・[情報]-[リスト]の「種類:パーテックス」で座標系を指定して実行できませんでした。

FEMOS

- ・[ファイル]-[スナップショット]-[PNG]を実行すると異常終了してしまいました。
- ・FEMOS トランスレータで生成した FEMOS 入力ファイルと標準入力ファイルの読み込みで異常終了する場合があります。

<バージョン 4.1 リリース 2 は正式公開されませんでした>

【バージョン 4.1 リリース 1 で修正されました。(2010/05/07)】

FEMIS

- ・[生成]-[CAD を使った]-[エッジ→要素]で、生成方法で生成節点数を指定し、さらに分割数を指定すると、処理が途中で止まってしまいました。
- ・[生成]-[ブロック]-[埋め込み鉄筋要素]で、ETRUSS 要素が作成されない場合があります。
- ・以下の FEMIS 要素名-1 次元要素のデフォルトが HEAT2 要素ではなく、SPRING 要素になっていました。
 1. [生成]-[ブロック]-[表面]
 2. [伝熱]-[熱伝達位置]
 3. [伝熱]-[熱流束]-[解除]
 4. [伝熱]-[熱流束位置]
 5. [伝熱]-[内部発熱位置]
- ・[条件]-[梁オプション]-[位置設定]で、既に設定済みの要素に再度設定する場合、後から設定したものに置き換わらずエラーになってしまいました。
- ・[伝熱]-[熱物性]-[異方性]で 3 次元要素を選択→再度ダイアログを表示した場合、Z の入力が淡色表示になってしまいました。
- ・[表示]-[描画]-[線画]で、その他の梁オプション関連を複数指定した場合、セット番号も指定すると正しく描画されませんでした。
- ・[表示]-[表示オプション]で荷重図・伝熱-初期温度倍率を指定しても、局所座標系の指定がしてある節点荷重に有効になっていませんでした。
- ・[特別]-[表から入力]-[埋め込み鉄筋要素]で、大量の ETRUSS 要素を作成しようとした場合、異常終了する場合があります。
- ・節点ブロックから要素を生成した後、UNDO した場合、隠線描画で隠れていた節点が表示されませんでした。
- ・条件などの全削除で異常終了する場合があります。
- ・ToolBox 設定ダイアログで、条件メニューが表示されていない場合、非表示の荷重グループがリセットボタンをクリックすると表示されてしまいました。
- ・ツールバーがサイズ変更可能な状態の時、クリップバンドをクリックしてもサイズが勝手に変更されないようにしました。

- ・従来、ETRUSS 要素は(正しくない情報で)コピーできてしまいましたが、ETRUSS 要素はその性質上、コピー不可となりました。
- ・ETRUSS 要素の構成節点がマージされ、位置が移動してしまう場合があります。ETRUSS 要素の構成節点はマージ対象外となりました。

FEMOS

- ・[結果]-[変形図・モード図]でオートスケールなしの場合、異常に変形が大きいと制御が返ってこなくなりました。
- ・[変更]-[レベル]-[設定]で最小・最大指定、値指定をしている場合、濃淡図等でレベル数値反転表示を行うと凡例の数値がすべて 0 になる場合があります。
- ・[情報]-[リスト]で、オプションの「出力範囲指定:基準値以上に記号付加」を指定しても、節点成分の場合、記号が付きませんでした。
- ・[表示]-[描画]-[線画]で、その他の梁オプション関連を複数指定した場合、セット番号も指定すると正しく描画されませんでした。
- ・[表示]-[表示オプション]で荷重図・伝熱-初期温度倍率を指定しても、局所座標系の指定がしてある節点荷重に有効になっていませんでした。
- ・ToolBox 設定ダイアログで、条件メニューが表示されていない場合、非表示の荷重グループがリセットボタンをクリックすると表示されてしまいました。
- ・ELF メニューを非表示にしていた場合、ファイルツールバーのボタン以外の場所をクリックすると ELF 出力ファイル選択ダイアログボックスが表示される場合があります。
- ・ELF メニューだけの表示に設定していても、ELF では不要なメニュー／ツールバーも表示されていました。
- ・ツールバーがサイズ変更可能な状態の時、クリップバンドをクリックしてもサイズが勝手に変更されないようにしました。
- ・梁部材断面力があるモデルの場合、複数ケース選択で時間がかかっていたのを改善しました。

LISA

- ・エラー-204、205 の時、メッセージをダブルクリックしてもヘルプが表示されませんでした。
- ・時刻歴応答解析で、ブロック数が 2 以上になる場合、結果が正しくありませんでした。
- ・時刻歴応答解析／非定常熱伝導解析で、時間関数がステップ関数の場合、微小時刻だと正しく値がとれない場合があります。
- ・4GB よりメモリを多く積んでいる PC の場合、空きメモリサイズが正しく取得できない場合があります。
- ・ETRUSS 要素の I 端がソリッド要素の構成節点と一致して、J 端が一致していない場合、正しく計算できずエラーとなっていました。

FEMOST

- ・STANDARD 変換で、ETRUSS 要素が対応していませんでした。

【バージョン 4.0 リリース 3 で修正されました。(2009/11/17)】 -バージョン 4.0 最終-

FEMIS/FEMOS

・スクロールバーのあるシートで、入力が表示外のエディットコントロールに移動してしまう場合があります。

◎機能追加

・スクロールバーのあるシートで、従来は表示最下段のエディットコントロールでリターン or タブキーを押すと、入力が表示最上段のエディットコントロールに移動していました。そのため、10 行以上の入力がある場合、マウスでスクロールしなくてはなりませんでした。表示最下段でリターン or タブキーを押した場合、スクロールして次のエディットコントロールに入力が移動するようにしました。また、PageUp/PageDown キーでもスクロールするようにしました。

LISA

・連動熱弾性解析で異常終了する場合があります。

【バージョン 4.0 リリース 2 で修正されました。(2009/06/19)】

FEMIS

- ・アイコンにファイルをドラッグ&ドロップしても起動しませんでした(ファイルに関連付け→ファイルをダブルクリックも同様)。
- ・[伝熱]-[時間関数]-[生成]で、リスタートなどメニュー以外で作成した 50 点以上の時間関数を選択すると異常終了してしまいました。
- ・[伝熱]-[時間関数]-[生成]で、既存の時間関数を修正しても修正が反映されない場合があります。
- ・[表示]-[表示オプション]で荷重図倍率を指定しても、局所座標系で設定した節点荷重には倍率が反映されませんでした。

FEMOS

- ・モデルが読み込まれている状態で、他のモデル(のファイル)をドラッグ&ドロップした場合、正しく読み込まれませんでした。
- ・[表示]-[表示オプション]で荷重図倍率を指定しても、局所座標系で設定した節点荷重には倍率が反映されませんでした。

LISA

- ・伝熱解析で、エラー 231 で表示される要素番号が正しくありませんでした。
- ・非定常熱伝導、時刻歴応答解析のステップ関数の入力を改善しました。

【バージョン 4.0 リリース 1 で修正されました。(2009/03/05)】

FEMIS

- ・[ファイル]-[読み込み]-[NASTRAN]で、ポアソン比がブランクかつ剪断弾性係数が 0 の MAT1 カードがある場合、異常終了してしまいました。
- ・[生成]-[ブロック]-[直線/スプライン]、-[円弧]で、作成方法「追加」をシートで実行した後、作成方法を「新規」にしてシートで実行することができませんでした。
- ・[条件]-[要素荷重位置]で、要素辺荷重および要素面荷重を設定する際、3 角形要素に辺番号 4 の荷重など、ありえない位置への荷重が設定できてしまいました（このような荷重があると荷重図が正しく描画されませんでした）。
- ・[接合]-[タイピング]-[主節点位置]で、シートで主節点を指定する場合、存在していない節点番号を指定できてしまいました（この場合、タイピングを描画すると異常終了してしまいました）。
- ・[特別]-[タイトル]で、全角文字を使った長いタイトルを設定した場合、文字化けする場合があります。
- ・[特別]-[表から入力]で、ワークフォルダのパスが半角 80 文字を超えている場合、正しく実行されない場合があります。
- ・CAD 面が設定してあるエッジを分割してエッジ数/1 境界の最大値を超えた場合、エラーになりませんでした。また、そのまま処理を進めるとデータを壊す場合があります。
- ・各条件の全削除、未使用削除で、リンク要素がない場合でもリンク要素の削除処理を行っていました。
- ・ツールバーが他のツールバーに隠されていても(隠されていて続きがあることを示す)シェブロンが表示されない場合があります。
- ・描画範囲選択状態で、別のファイルを読み込むと選択状態は解除されるが、ステータスバーの表示が選択中のままになっていました。
- ・Windows Vista でで、節点(要素)数が 6 桁の場合、ステータスバーの節点(要素)数の表示が欠けてしまいました。

FEMOS

- ・[選択]-[単一ケース]、-[複数ケース]で、中止ボタンをクリックしても中止されない場合があります。
- ・[グラフ]-[相関]で、出力先を画面以外にした場合、形状の上に重ねてグラフを描いてしまいました。
- ・[アニメーション]-[作成ウィザード]で、中止ボタンをクリックしても中止されない場合があります。
- ・[アニメーション]-[作成ウィザード]で、レベル数指定がリストからの選択形式になっていませんでした。
- ・[特別]-[タイトル]で、全角文字を使った長いタイトルを設定した場合、文字化けする場合があります。
- ・描画範囲選択の切断面または切断要素隠面状態で、数値図、サークル図を実行した時、節点成分が存在していない節点に値 0 を描画してしまいました。
- ・リスト出力で、モーメントのラベルがメニューの表記と一致していませんでした。
- ・複数ケースのリスト出力で、出力成分があるケースには存在していて、あるケースでは存在していないような場合、ケース番号が正しく出力されない場合があります。
- ・ツールバーが他のツールバーに隠されていても(隠されていて続きがあることを示す)シェブロンが表示されない場合があります。
- ・描画範囲選択状態で、別のファイルを読み込むと選択状態は解除されるが、ステータスバーの表示が選択中のままになっていました。
- ・Windows Vista でで、節点(要素)数が 6 桁の場合、ステータスバーの節点(要素)数の表示が欠けてしまいました。

LISA

- ・[ファイル]-[複数開く]で、解析実行をキャンセルした場合、解析パラメータがない解析でもツールバーの解析パラメータ設定ボタンがクリックできてしまいました。
- ・[解析パラメータ]-[伝熱解析]-[共通パラメータ]に、非定常解析のパラメータである「時間積分手法」「関数補正」がありました。これらを[解析パラメータ]-[伝熱解析]-[非定常熱伝導]に移動しました。
- ・座屈解析で異常終了する場合があります。
- ・スプリング要素で部材 1 軸と 2 軸が同一に指定されていた場合、異常終了してしまいました。

FEMIST

- ・ELF 変換で既存の mai ファイルを上書きする場合、上書き確認メッセージで表示されるファイル名が meg ファイル名になっていました。
- ・ELF 変換でエラーがあった場合、「システムファイル名(f_input2)に対応する拡張子が見つかりません(GetExtName)」という無関係なメッセージが表示されていました。
- ・MARC 変換でバネ拘束がある場合、変換できない場合があります。
- ・NASTRAN 変換で拘束条件が設定されていないと RBAR が変換されませんでした。
- ・一時ログファイルが削除されず、ワークフォルダに残ったままになる場合があります。

FEMOST

- ・ELF 変換で、変換は正常に実行されているのに「システムファイル名(f_input2)に対応する拡張子が見つかりません」というメッセージが表示されてしまいました。
- ・STANDARD 変換で、標準出力の出力ケースに欠番がある場合、ケース数が正しく変換されませんでした。

AddCase

- ・必要メモリの計算が正しく行われていませんでした。

以上